

# 神奈川県立瀬谷高等学校 硬式野球部

## 高校体験プログラム（練習体験会）について

神奈川県立瀬谷高等学校硬式野球部監督・平野太一と申します。

昨年度に引き続き、本校にて高校体験プログラムという県立高校の取り組みの一環で、硬式野球部の説明会・練習体験会を開催することとなりました。昨年は 80 名を超える選手、保護者・指導者の方々合わせて 150 名を超えるご参加があったイベントでもあります。

日頃より野球に熱く、熱く取り組んでいらっしゃる選手・保護者の方にぜひ一度、『県立高校から甲子園へ』という大きな目標に向けたチームづくりをしている本校硬式野球部の説明会・練習体験会にぜひとも参加していただきたくご連絡をいたしました。

県立高校の躍進が多く続いておりますが、依然、私学優勢な情勢は変わっておりません。県立高校が躍進することが神奈川の野球をさらに発展させるという想いから、本校野球部で『県立高校から甲子園』という目標を達成したい、という熱い選手たちを待っています。

おかげさまで、3 学年で部員も 48 名と瀬谷高校歴代最多となりました。入部する生徒の意識も向上してきており、人財・物資ともに環境が徐々に整ってまいりました。また、チーム紹介や O P 戦日程表も添付させていただきましたが、練習試合の対戦校も県内外問わず甲子園優勝校、出場校から強豪私学と多く組ませていただいたり、フィジカル、メンタルなども多くの外部トレーナーに入らせていただくなど、生徒の野球への欲求を満たし、持っている力を最大限発揮できるような環境づくりを心掛けてつくっております。

幼いころから熱く野球に取り組んできて、高校野球はひとつの大きな節目だと思います。熱く野球をやってきた力をぜひ高校で存分に発揮してください。そのためには自分の目標に合った高校選びも大切なことです。選ぶうえでの選択肢の 1 つにもなると思いますので、ぜひ 1 度、本校硬式野球部の練習体験会に来て、雰囲気を感じてください。

**私たちは文武両道で『県立高校から甲子園』を目指す熱い選手を待っています！**

何より 3 年間かけて、野球のレベルアップはもちろんのこと、『人としてどうあるべきか』を選手とともに考え続け、社会で“活躍”する人財になってもらいたい一心で指導しております。

瀬谷高校のチーム紹介文も目を通していただくと幸いです。

今後とも本校硬式野球部をよろしく願います。また、ご健勝をお祈り申し上げます。

**日時** 2016 年 8 月 5 日（金） 10:30～11:30 説明会 13:00～15:00 練習体験会

**持ち物** 昼食、ユニフォーム、グラブ、スパイク（練習参加できる準備）

**申し込み方法** 瀬谷高校 Web ページより申込フォームにて（7/31 まで）

【お問い合わせ】

監督 平野太一

部長 古川竜三

# 神奈川県立瀬谷高等学校 硬式野球部 案内

## 県立高校から甲子園へ

### 【野球部の目的・目標】

本校野球部の目標は神奈川県で60年以上遠ざかっている『**神奈川県・県立高校からの甲子園出場**』

野球を通して『**社会で活躍する自立した人財の育成**』

【在籍部員】 3年生13名 2年生19名 1年生16名 計48名

【出身中学校】 横浜市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、その他1名

### 【クラブチーム】

瀬谷シニア、保土ヶ谷シニア、旭シニア、藤沢シニア、仙台西部シニア、横浜泉中央ボーイズ、綾瀬ボーイズ、都築ボーイズ、座間ボーイズ、横浜緑ボーイズ、横浜旭BBC、旭峰BBC など

### 【指導スタッフ】 ※2016年現在

部長・古川竜三（社会）、副部長・堀籠康介（英語）、顧問・海鋒京子（英語）、監督・平野太一（保健体育）

### 【監督】 平野太一 大分県出身 31歳

球歴：大分県立別府鶴見丘高校（最高県ベスト8）➡川崎医療福祉大学（中国地区大学野球連盟所属）

（現役時代の実績：3年秋には中国地区1部リーグ首位打者・ベストナイン受賞、4年春には中国地区選抜として国際親善大会出場）

指導歴：県立津久井浜高校（監督5年：最高成績夏ベスト16）➡県立瀬谷高校（監督4年目）

### 瀬谷高校～県立から甲子園への道～①自立

夏の大会のグラウンドでは誰も助けてくれません。自分で考え、自分で決断し、自分から行動できる選手を育成します。

また、選手たちが自分たちでミーティングを開き、自分たちの課題と改善方法を自分たちで考え、指導者と話し合ってメニューを決めていくという方法もとっています。やらされるのではなく、勝ちたいからこそ考えて野球をするのです。

瀬谷高校野球部では与えられたハードメニューはもちろんのこと、**自分で考えて、自分で行動する力**を大切にします。

### 考える力（自立心）を養うために➡野球日誌

毎日の学びや次の日の目標を書いて提出し、顧問のメッセージをもらいます。自分の考えや監督の考えなどをお互いに知るキッカケになったり、指導者と部員との良いコミュニケーションツールにもなっています。

また、自律・自立する上では『**時を守る、場を清める、礼を正す、奉仕の心を持つ**』が必要です。**この躰（しつけ）教育は徹底しておこないます。**

### 瀬谷高校～県立から甲子園への道～②支援（サポート）

瀬谷高校は野球ができる、伸びていくサポート環境が整っています。

## スキルトレーニング

スキル指導ができる教員が3名おり、目が広くいきわたります。

さらに社会人野球の元・監督など臨時コーチからコーチングしていただける機会があります。

日本一を経験した名将がコーチに来たこともあります。

## フィジカルトレーニング

フィジカルトレーナーを採用しており、科学的な根拠に基づいたトレーニング方法でトレーニングができます。

メニューも段階に応じたものになっており、きめ細やかな指導がおこなわれています。

また、食育にも力を入れており、食育セミナーなども講師を招いて定期的におこなっている。選手は体が資本です。

## メンタルトレーニング

瀬谷高校ではオリンピックに帯同している世界レベルのメンタルコーチに入っています。他の高校にはない、瀬谷独自の大きなメリットです。チームとしては、チーム全体に向けたメンタルセミナーから個人面談、また保護者の方向けのメンタルセミナーも行っています。

## 瀬谷高校～県立から甲子園への道～③指導者のネットワーク、練習試合

指導者が野球への学びを怠らず、常に“どうすれば勝てるのか”“選手の力を引き出せるか”を考え、

例えば・・・走塁を向上させるには、と思えば健大高崎に行き、チームの組織力を向上させるには、と思えば山形中央へ行き、

日本一には何が必要なんだろう、と思えば前橋育英や常総学院へ練習試合へ連れて行き、常に学びを絶やしません。

選手たちとにかくいい学びをしてほしい一心です。よいものは学んで取り入れる。選手たちのメリットとなるための学びは絶えず努力いたします！それが可能な野球界のネットワークをしっかり持っていることも選手へのメリットだと思います。

瀬谷高校は公立校ではあまりない、多くの強豪校との練習試合を組んでいます。

【県内】横浜隼人、向上、平塚学園、鎌倉学園、日大、藤嶺藤沢、日大藤沢、橘学苑、藤沢翔陵、法政二、湘南工科大附属、横浜創学館、相洋、武相、横浜商大 etc…

【県外】（東京）成立学園、東海大高輪台、都立小山台、修徳、日大二、国士館（千葉）成田、拓大紅陵、志学館（山梨）日大明誠、甲府商業（埼玉）花咲徳栄、明秀日立（茨城）常総学院（静岡）日大三島、静岡、飛龍（群馬）健大高崎、前橋育英 etc…

【なぜ強豪校と練習試合を多くするか】

- ①感覚を“強豪校”“甲子園出場校”に合わせるため：『当たり前基準』を上げることで練習の質の向上につながる！
- ②早くから試合に出場させ、早い時期から高いレベルに触れさせるため：私学にはできない県立のメリット
- ③神奈川の私学優勢の中、ユニフォーム負け・名前負けしないため

瀬谷高校では、**強豪校と多く試合ができる＋早い時期から多く試合経験が積める**

➡私学や他の公立高校の選手と差をつけられる、成長が早い

例：今年、雑誌やネットなどのメディアにも多く出させてもらっている3年生の杜秀介は1年の5月から4番を打ち続け、3年間を通して試合に出場し続けて成長した選手です。中学校時代1本も打ったことのなかった本塁打も、高校通算20号を越える打者にまで成長しました。試合経験を多く積むことは選手にとってのもの凄く重要です。

## 最後に、監督より

瀬谷高校野球部は、野球においては私学のメリット（強豪校との試合やさまざまなサポート体制）を取り入れ、県立のメリット（試合経験を多く踏める、など）も残しつつそして県立高校生としての誇りを胸に、勉強にも励みます。

私は人生 1 度きり、この世に生を受けた者なら何か生きた証を残したい！高校野球で県立から旋風を巻き起こし、甲子園に出場する！そんな証を残したい！という一心で取り組んでいます。生徒たちも一生懸命頑張ってくれる自慢の部員たちです。

また、社会に出て活躍するための自立心、自ら考え自分から行動する力、人との会話・コミュニケーション能力もとても大切にしています。野球から多くのことを学び、社会に旅立って行ってほしいと強く思っています。

一緒に瀬谷高校で県立瀬谷旋風を巻き起こすためにも、意欲と情熱にあふれる選手を待っています！

## Q and A

Q 1. 野球部の生徒はどのような進路に進んでいるのでしょうか？

A 1. ほんの一例ですが、今春卒業の瀬谷高校野球部 39・40 期生の進路状況（一般受験）は進学率 100%で次のとおりです。法政大学、青山学院大学、専修大学、明治学院大学、駒澤大学、日本大学、東洋大学、神奈川大学、亜細亜大学、大正大学、国土館大学、東海大学、帝京大学

Q 2. 県立から大学野球など上のレベルで野球をすることは難しいですか？

A 2. そんなことはありません。私も県立高校から大学野球をやりましたし、卒業生の中からは、スポーツ推薦（AO 入試）で大学へ進学し、1 年春からリーグ戦で登板したり、この春のリーグでは打点王やベストナイン（神奈川リーグ 1 部）を獲得する選手も出ました。監督に大学野球とのネットワークもありますので、しっかり勉強と野球に励めば、道は開かれます。**大学以上のレベルで通用するように心がけて指導しています。**

Q 3. 勉強との両立は可能ですか？

A 3. **勉強と野球は本来、両立できるかどうかではなく、両立させるべきもの**だと考えています。もちろん甲子園を目指しているので、練習時間や練習量は当然ハードなものになります。その中でいかに授業を大切にするか、また限られた時間の中で勉強していくか、ということが大切になってきます。野球だけやっていたらいい、間違っていますし、勉強しなければいけないから野球の練習を削る、というのも違います。限りある時間の中で野球と勉強、両方を 100 頑張っていくという“覚悟”は必要になります。（※選手の成績を定期的にチェックし、テスト前などは練習時間を調整したりして勉強に集中します。）

Q 4. 私学か公立かで迷っています。

A 4. 私立といってもたくさんあるのでひとくくりにはできませんが、実績があって、環境もあり、選手も多い中で甲子園を目指したい！という方は私立でいいのではないのでしょうか。ちなみに、私学の大勢の部員の中でもベンチ入りは 20 名です。100 名を超えるスタンド応援の中にも力を持った選手たちが溢れているのを見ると、本校だったらもっとチャンスがあったのにな、と思うことはあります。この多人数の中で自分を磨いていくのも高校野球ですが、チャンスに恵まれて伸びていく選手もいると思います。

私たちは、新しく実績・歴史をつくっていこう！という新興勢力群です。**自分の力で新しい 1 ページを切り開いていくぞ！**  
**という強い意志、パワーのある選手は公立向きではないでしょうか。私はそのようなパワーをもった選手たちと新しい 1**  
**ページを切り開いていきたいと思います！**

Q 5. 公立の中でも迷いがあります。

A 5. 公立に関しては内申点などの成績も大きくかわることなので、まず自身の成績と相談しましょう。また、**必ず 1 度は練習を見学に行ってください。**高校の名前や夏の大会の結果、過去の実績だけでは見えないことがたくさんあります。自分のやりたい野球ができる高校を選ぶことが大切です。これは自分でやることです。必ず見学してください。

**瀬谷は熱く、激しく、そして選手が自立し考える野球をするスタイルです！**

Q 6. また瀬谷高校の野球部を見学に来ても良いでしょうか？

A 6. 本来の練習もぜひ見てほしいと思っています。いつでもよいので顧問の先生や監督、また個人でも構いません。連絡していただければいつでも見に来てください。待っています。

**その他ご質問などがありましたら、顧問にお尋ねください。また、ぜひ部員にも声をかけていただき、現役選手の生の声を聞いてみてください。瀬谷では人との対話を大切にしています。どの部員もうわべでなく、心からのおもてなしができることが瀬谷野球部の売りでもあります。ぜひ瀬谷高校野球部員との会話もお楽しみください。自信を持ってお勧めできる部員ばかりです！**